

学校コード F127310108241
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 学部の設置
注1



注2
大阪成蹊大学 データサイエンス学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 大阪成蹊学園
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	経営企画本部 経営企画課
職名・氏名	課長 河村泰文
電話番号	06-6829-2620 (内線: 1256)
(夜間)	06-6829-2620 (内線: 1256)
e-mail	ksh@osaka-seikei.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

データサイエンス学部

＜データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大阪成蹊学園

(2) 大学名

大阪成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川1丁目3番7号

(〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イイシゲル) 石井 茂 (平成22年4月)		
学長	(ナカムラ ヨシマサ) 中村 佳正 (令和5年4月)		
学部長	(ヨシカワ マサトシ) 吉川 正俊 (令和5年4月)		
学科長	(コヤマダ ケンジ) 小山田 耕二 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データサイエンス学部 データサイエンス学科 学士 (データサイエンス)	工学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期													
A 入学定員	-人 (-) [-]	80人 (-) [3]	-人 (-) [-]	0.85倍	-	0.85倍	-										
志願者数	- (-) [-]	253 (-) [0]	- (-) [-]														
受験者数	- (-) [-]	225 (-) [0]	- (-) [-]														
合格者数	- (-) [-]	190 (-) [0]	- (-) [-]														
B 入学者数	- (-) [-]	68 (-) [0]	- (-) [-]														
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		0.85						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期										
1年次	- [-] (-)	68 [-] (-)	- [-] (-)											
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)										
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)							
4年次					/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)				
計			/				- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	68 [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和5年度	68 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次科目	成蹊基礎演習1	1前	2			1	1	1			
	成蹊基礎演習2	1後	2			3					
文章と表現	スタディスキルズ1	1前	2			2	1				
	スタディスキルズ2	1後	2			2	1				
外国語科目	英語演習 I	1・2前	1								2
	英語演習 II	1・2後	1								2
	英語演習 III	2・3前	1								2
	英語演習 IV	2・3後	1								2
	英語表現 I	1・2・3前	1								1
	英語表現 II	1・2・3後	1								1
	中国語入門 I	1・2・3前後	1								1
	中国語入門 II	1・2・3前	1								1
	フランス語入門 I	1・2・3前後	1								1
	フランス語入門 II	1・2・3前	1								1
留学生科目	日本語演習1	1前	1								1
	日本語演習2	1後	1								1
	日本語演習3	2前	1								1
	日本語演習4	2後	1								1
人間と智	人間と文学	1・2・3・4前後	2								1
	人間と宗教	1・2・3・4前後	2								1
	人間と哲学	1・2・3・4後	2								1
	人間と芸術	1・2・3・4後	2								1
	教育学入門	1・2・3・4後	2								1
	現代倫理	1・2・3・4前	2								1
	心理学概論	1・2・3・4前後	2								2
	考古学	1・2・3・4前後	2								1
	日本史概説	1・2・3・4後	2								1
	外国史概説	1・2・3・4前後	2								1
国際社会と日本	日本国憲法	1・2・3・4前後	2								2
	国際関係論	1・2・3・4前	2								1
	人権と社会	1・2・3・4前後	2								1
	社会学概論	1・2・3・4前後	2								2
	多文化共生社会	1・2・3・4前後	2								1
	現代と社会福祉	1・2・3・4前後	2								2
	ジェンダー論	1・2・3・4前後	2								1
	大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2								1
	京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と政治	1・2・3・4前	2								1
科学と環境	生命と科学	1・2・3・4前後	2								1
	地球環境問題	1・2・3・4前後	2								1
	暮らしの科学	1・2・3・4前後	2								1
	現代と科学	1・2・3・4後	2								1
スポーツと健康	スポーツ演習 I	1・2・3・4前	1								4
	スポーツ演習 II	1・2・3・4後	1								4
	健康科学	1・2・3・4前後	2								1
AI・データリテラシー	情報リテラシー1	1前	2								1
	情報リテラシー2	1後	2								1
	データサイエンス基礎	1・2・3・4前後	2			1	1				
	データサイエンス実践	1・2・3・4後	2					1	1		
	統計学基礎	1・2・3・4前後	2				1	1			
	統計学実践	1・2・3・4後	2				1	1			
	AI入門	1・2・3・4後	2								1
キャリア科目	企業等連携PBL	2・3・4前	2			3					
	キャリアプランニング	2・3・4後	2			2	1				
	ビジネス・インターンシップ1	3・4前	2			3					
小計(59科目)		-	4	96	0	8	5	2	1	0	46

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次科目	成蹊基礎演習1	1前	2			1	1	1			
	成蹊基礎演習2	1後	2			3					
文章と表現	スタディスキルズ1	1前	2			2	1				
	スタディスキルズ2	1後	2			2	1				
外国語科目	英語演習 I	1・2前	1								1
	英語演習 II	1・2後	1								1
	英語演習 III	2・3前	1								2
	英語演習 IV	2・3後	1								2
	英語表現 I	1・2・3前	1								1
	英語表現 II	1・2・3後	1								1
	中国語入門 I	1・2・3前後	1								1
	中国語入門 II (未開講)	1・2・3前	1								1
	フランス語入門 I (未開講)	1・2・3前後	1								1
	フランス語入門 II (未開講)	1・2・3前	1								1
留学生科目	日本語演習1 (未開講)	1前	1								1
	日本語演習2 (未開講)	1後	1								1
	日本語演習3	2前	1								1
	日本語演習4	2後	1								1
人間と智	人間と文学	1・2・3・4前後	2								1
	人間と宗教	1・2・3・4前後	2								1
	人間と哲学 (未開講)	1・2・3・4後	2								1
	人間と芸術	1・2・3・4前後	2								1
	教育学入門 (未開講)	1・2・3・4後	2								1
	現代倫理 (未開講)	1・2・3・4前	2								1
	心理学概論	1・2・3・4前後	2								3
	考古学	1・2・3・4前後	2								1
	日本史概説	1・2・3・4後	2								1
	外国史概説 (未開講)	1・2・3・4前後	2								1
国際社会と日本	日本国憲法	1・2・3・4前後	2								2
	国際関係論 (未開講)	1・2・3・4前	2								1
	人権と社会	1・2・3・4前後	2								1
	社会学概論	1・2・3・4前後	2								1
	多文化共生社会	1・2・3・4前後	2								1
	現代と社会福祉	1・2・3・4前後	2								1
	ジェンダー論	1・2・3・4前後	2								1
	大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2								1
	京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と政治	1・2・3・4前	2								1
科学と環境	生命と科学 (未開講)	1・2・3・4前後	2								1
	地球環境問題	1・2・3・4前後	2								1
	暮らしの科学	1・2・3・4前後	2								1
	現代と科学	1・2・3・4後	2								1
スポーツと健康	スポーツ演習 I	1・2・3・4前	1								3
	スポーツ演習 II	1・2・3・4後	1								2
	健康科学	1・2・3・4前後	2								1
AI・データリテラシー	情報リテラシー1	1前	2								1
	情報リテラシー2 (未開講)	1後	2								1
	データサイエンス基礎	1・2・3・4前後	2			1	1				
	データサイエンス実践	1・2・3・4後	2					1	1		
	統計学基礎	1・2・3・4前後	2				1	1			
	統計学実践	1・2・3・4後	2				1	1			
	AI入門 (未開講)	1・2・3・4後	2								1
キャリア科目	企業等連携PBL	2・3・4前	2			3					
	キャリアプランニング	2・3・4後	2			2	1				
	ビジネス・インターンシップ1	3・4前	2			3					
小計(59科目)		-	4	96	0	8	5	2	1	0	46

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	専門基礎科目	データサイエンスのための数学基礎	1・2前	2			1	1	1			
		プログラミング基礎	1・2前	2			1					
		統計学1	1・2前	2				1	1			
		データサイエンス概論	1・2前	2			7	5	2			
		データマイニング基礎	1・2後	2			1					
		計算機概論1	1・2後	2			1					
		データと数理1	1・2後	2			1	1				
	専門基礎科目	アルゴリズム	1・2後	2			1	1				
		データ可視化	1・2後	2			1					
		ソフトウェア工学基礎	2・3前	2			1					
		データと数理2	2・3前	2			1	1				
		統計学2	2・3前	2					1			
		計算機概論2	2・3前	2			1					
		情報検索	2・3前	2			1					
		情報ネットワークとWeb	2・3前	2			1					
		回帰と分類	2・3前	2			1					
		ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	2・3後	2			1					
		時系列分析	2・3後	2			1					
		人工知能1	2・3後	2			1					
		機械学習1	2・3後	2			1					
		インターネット開発	2・3後	2			1					
	専門展開科目	データベース1	2・3後	2			1					
		モデリングとシミュレーション	2・3後	2			1					
		セキュリティとプライバシー保護	2・3後	2			1					
		セキュリティとデータプライバシー	3・4前	2			1					
		クラス分析とパターンマイニング	3・4前	2			1					
		テキスト解析論	3・4前	2				1				
		ビジネス基礎	3・4前	2			1					
		統計学3	3・4前	2				1				
		データと数理3	3・4前	2				1	1			
		機械学習2	3・4前	2			1					
		可視化情報学	3・4前	2			1					
		データベース2	3・4前	2			1					
		スポーツデータ科学	3・4前	2				1				
		情報と職業	3・4前	2			2					
	専門演習科目	人工知能2	3・4前	2				1				
		計算機援用工学(CAE)	3・4後	2			1					
		ビッグデータとクラウド	3・4後	2			1					
		データ活用	3・4後	2				1				
		事業機会とビジネスモデル	3・4後	2			1					
		観光情報学	3・4後	2			1					
		健康・医療データ科学	3・4後	2			1					
		サービス経営とデータサイエンス	4前	2			1					
		未来クリエーションプロジェクト1	1前	4			1	1	2			
		未来クリエーションプロジェクト2	1後	4			1	1		1		
		未来クリエーションプロジェクト3	2前	4			3					
		未来クリエーションプロジェクト4	2後	4			2	1				
		未来クリエーションプロジェクト5	3前	4			2	1				
		卒業研究1	3後	4			8	5	2			
	卒業研究2	4前	6			8	5	2				
	卒業研究3	4後	6			8	5	2				
小計(51科目)	-	46	76	0	9	5	2	1	0	0		
合計(110科目)	-	50	172	0	9	5	2	1	0	46		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	専門基礎科目	データサイエンスのための数学基礎	1・2前	2			1	1	1			
		プログラミング基礎	1・2前	2			1					
		統計学1	1・2前	2				1	1			
		データサイエンス概論	1・2前	2			7	5	2			
		データマイニング基礎	1・2後	2			1					
		計算機概論1	1・2後	2			1					
		データと数理1	1・2後	2			1	1				
	専門基礎科目	アルゴリズム	1・2後	2			1	1				
		データ可視化	1・2後	2			1					
		ソフトウェア工学基礎	2・3前	2			1					
		データと数理2	2・3前	2			1	1				
		統計学2	2・3前	2					1			
		計算機概論2	2・3前	2			1					
		情報検索	2・3前	2			1					
		情報ネットワークとWeb	2・3前	2			1					
		回帰と分類	2・3前	2			1					
		ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	2・3後	2			1					
		時系列分析	2・3後	2			1					
		人工知能1	2・3後	2			1					
		機械学習1	2・3後	2			1					
		インターネット開発	2・3後	2			1					
	専門展開科目	データベース1	2・3後	2			1					
		モデリングとシミュレーション	2・3後	2			1					
		セキュリティとプライバシー保護	2・3後	2			1					
		セキュリティとデータプライバシー	3・4前	2			1					
		クラス分析とパターンマイニング	3・4前	2			1					
		テキスト解析論	3・4前	2				1				
		ビジネス基礎	3・4前	2			1					
		統計学3	3・4前	2				1				
		データと数理3	3・4前	2				1	1			
		機械学習2	3・4前	2			1					
		可視化情報学	3・4前	2			1					
		データベース2	3・4前	2			1					
		スポーツデータ科学	3・4前	2				1				
		情報と職業	3・4前	2			2					
	専門演習科目	人工知能2	3・4前	2				1				
		計算機援用工学(CAE)	3・4後	2			1					
		ビッグデータとクラウド	3・4後	2			1					
		データ活用	3・4後	2				1				
		事業機会とビジネスモデル	3・4後	2			1					
		観光情報学	3・4後	2			1					
		健康・医療データ科学	3・4後	2			1					
		サービス経営とデータサイエンス	4前	2			1					
		未来クリエーションプロジェクト1	1前	4			1	1	2			
		未来クリエーションプロジェクト2	1後	4			1	1		1		
		未来クリエーションプロジェクト3	2前	4			3					
		未来クリエーションプロジェクト4	2後	4			2	1				
		未来クリエーションプロジェクト5	3前	4			2	1				
		卒業研究1	3後	4			8	5	2			
	卒業研究2	4前	6			8	5	2				
	卒業研究3	4後	6			8	5	2				
小計(51科目)	-	46	76	0	9	5	2	1	0	0		
合計(110科目)	-	50	172	0	9	5	2	1	0	46		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務実習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】
・ 授業運営上の理由により、「英語演習Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「英語演習Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「人間と芸術」の開講時期を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「心理学概論」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「社会学概論」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「現代と社会福祉」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。
・ 授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「2」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年度の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	95 科目	0 科目	110 科目	15 科目 [-]	95 科目 [-]	0 科目 [-]	110 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{110} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学（必要面積10,800㎡）、びわこ成蹊スポーツ大学（必要面積14,400㎡）及び大阪成蹊女子高等学校（運動場等8,600㎡・収容定員2,040人）と共用 校舎敷地 専用の内、 借用面積：9,787.51㎡ 借用期間：53年 運動場用地3か所は校舎敷地と別地（徒歩約5分に1箇所、徒歩約20分に1箇所、公共交通機関利用約50分に1箇所） 土地の新規取得のため、大学専用校舎敷地が99.80㎡増（5）			
	校舎敷地	15,819.55 ㎡ 15,719.75 ㎡	28,356.03 ㎡	59,003.81 ㎡	103,179.39 ㎡ 103,079.59 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	16,294.37 ㎡	79,482.00 ㎡	95,776.37 ㎡				
	小計	15,819.55 ㎡ 15,719.75 ㎡	44,650.40 ㎡	138,485.81 ㎡	198,955.76 ㎡ 198,855.96 ㎡				
	その他	0 ㎡	594.52 ㎡	15,611.11 ㎡	16,205.63 ㎡				
	合計	15,819.55 ㎡ 15,719.75 ㎡	45,244.92 ㎡	154,096.92 ㎡	215,161.39 ㎡ 215,061.59 ㎡				
(2) 校舎	専用	21,995.92 ㎡ 22,061.70 ㎡	23,154.51 ㎡ 23,012.87 ㎡	4,765.13 ㎡ 4,840.91 ㎡	49,915.56 ㎡ 49,915.48 ㎡	大阪成蹊短期大学（必要面積11,150㎡）と共用 部屋の用途変更及び登記面積との差分修正のため（5）			
		(21,995.92 ㎡) (22,061.70 ㎡)	(23,154.51 ㎡) (23,012.87 ㎡)	(4,765.13 ㎡) (4,840.91 ㎡)	(49,915.56 ㎡) (49,915.48 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	34 室 30 室	演習室 69 室 71 室	実験実習室 172 室 175 室	情報処理学習施設 14 室 15 室 (補助職員 一人)	大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む） 他学部の部屋の用途変更及び共用区分の見直しのため、大学全体の教室数を変更（5）			
					1 室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数					
	データサイエンス学部			16 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学・短大での共用分 図書 316,872 (41,342) 学術雑誌 13,931 (11,750) 電子ジャーナル 11,617 (11,617) 視聴覚資料 6,682 機械・器具 3,449 標本 34 内国書・外国書の区分を修正したため、外国書の点数が2冊増(5)	
	データサイエンス学部	3,287 [269] 3,287 [267] (3,287 [269]) (3,287 [267])	28 [1] (28 [1])	1 [1] (1 [1])	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計	3,287 [269] 3,287 [267] (3,287 [269]) (3,287 [267])	28 [1] (28 [1])	1 [1] (1 [1])	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体 座席追加のため変更（5）		
	1,911.90㎡		240席 239席		329,960冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,706.37 ㎡		該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子書籍・オンラインジャーナルの整備費を含む（運用コストを含む）
		教員 1 人 当り 研究 費 等	360 千円	360 千円	図書購入費	24,232 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	共同研究費等	1,000 千円	1,000 千円	設備購入費	589,969 千円	1,000 千円	1,000 千円		
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次 1,654 千円	第 2 年次 1,500 千円	第 3 年次 1,500 千円	第 4 年次 1,500 千円	第 5 年次 —	第 6 年次 —		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
経営学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
	4	260	3年次11	1062	-	1.15	-	1.11	1.11	令和4 令和5	平成15	-						
経営学科	4	140	3年次10	580	学士(経営学)	1.23	-	1.19	-	令和4 令和5	平成15	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	令和4年度入学定員変更(110→140) 令和5年度3年次編入学定員変更(1→10)					
スポーツマネジメント学科	4	120	3年次1	482	学士(経営学)	1.13	-	1.08	1.08	令和4	平成28	同上	令和4年度入学定員変更(110→120)					
国際観光ビジネス学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	-	-	平成30	同上	令和4年度入学生より学生募集停止、 令和6年度入学生より 3年次編入学生募集停止					
国際観光学部	4	80	3年次2	324	-	0.81	-	0.81	-	-	令和4	-						
国際観光学科	4	80	3年次2	324	学士(経営学)	0.81	-	0.81	-	-	令和4	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号						
教育学部	4	220	3年次5	890	-	1.10	-	1.09	1.08	令和4	平成26	-						
教育学科	4	220	3年次5	890	学士(教育学)	1.10	-	1.09	1.08	令和4	平成26	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号						
初等教育専攻	4	150	3年次5	610	学士(教育学)	1.15	-	1.13	1.13	令和4	平成26	同上	令和4年度入学定員変更(140→150)					
中等教育専攻	4	70	-	280	学士(教育学)	1.00	-	0.98	-	令和4	平成30	同上	令和4年度入学定員変更(60→70)					
芸術学部	4	220	3年次7	894	-	1.14	-	1.12	1.11	令和4 令和5	平成18	-						
造形芸術学科	4	220	3年次7	894	学士(芸術)	1.14	-	1.12	1.11	令和4 令和5	平成18	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	令和4年度入学定員変更(190→220) 令和5年度3年次編入学定員変更(1→7)					
データサイエンス学部	4	80	-	320	-	0.85	-	0.85	-	-	令和5	-						
データサイエンス学科	4	80	-	320	学士(データサイエンス)	0.85	-	0.85	-	-	令和5	大阪府大阪市東淀川区相川1丁目3番7号						
看護学部	4	80	-	320	-	1.10	-	1.10	-	-	令和5	-						
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.10	-	1.10	-	-	令和5	大阪府大阪市東淀川区相川1丁目3番7号						
大学全体	4	940	25	3810	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学ではFD委員会を設け、教員の資質の向上に努めている。委員会は、副学長や各学部長等で構成している。本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革FSD会議（構成員：理事長・総長、学長、副学長、学部長、学科長、コース主任等の専任教員、高等教育研究所研究員及び幹部職員等）を開催し、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラバスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価の実施など18のプロジェクトを立ち上げ、推進しており、各プロジェクトとFD委員会が連携して教員の資質を高める研修を開催している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年度のFD委員会の開催予定は①-cに記載の通りである。

c 委員会の審議事項等

令和6年度FD研修会開催計画の策定について（令和6年3月開催予定）

なお、令和5年度のFD研修会開催計画については、令和5年3月に委員会にて審議し策定済。

② 実施状況

a 実施内容

(学部FD研修)

- ・ 令和5年度における教学改革の組織的な推進
- ・ AI・データサイエンス本学学生に向けたデータリテラシー教育の実践報告
- ・ 初年次教育（スタディスキルズ/成蹊基礎演習）の組織的な展開に向けた授業準備
- ・ 本学のアクティブ・ラーニング型授業の要点と優れた授業実践事例
- ・ 成績評価ガイドラインの適切な理解とループリックの活用方法
- ・ ティーチング・ポートフォリオの作成及びワークショップ
- ・ 令和6年度「シラバス作成の手引き」とシラバス作成の留意点
- ・ PROGテストの分析結果を踏まえた成果・課題の共有と今後の方針
- ・ 授業評価アンケートの分析結果と今後の授業改善対策
- ・ 配慮の必要な学生に対する対応と今後の対策
- ・ 令和5年度 GPAの活用方針と指導時の留意点
- ・ パーソナル・ブランド・マネジメントプロジェクトのこれまでの成果と今年度の指導方針

(SD研修)

- ・ 新任教員および非常勤教員を対象とした理事長・総長による講話（本学の現況、教学改革の取り組み、教学改革の成果（学修成果の可視化）、教員への要請事項など）（非常勤教員研修会：令和5年3月実施、新任教員研修会：令和5年4月実施）

b 実施方法

上記取組みは、FD委員会および教学改革FSD会議、教務本部等との連携を図り実施することを予定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組みを実施する予定としている。

また、FD研修は全教員を出席対象としており、研修後のアンケート等の提出をもって出席確認を行う予定としている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各期末に、担当授業ごと、各教員は授業報告書・改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することを予定している。FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案し、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組むことを予定している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和5年7月、令和6年1月の前後期1回ずつの実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業報告書等の提出を課す予定としている。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することも予定している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

データサイエンス学部データサイエンス学科は、Society5.0への移行が唱えられるデータの時代にこそ必要とされる「人間力」を高め、データを正しく扱うための知識や技能、科学的方法についての理解を持ち、データから新しい知見や価値を見出す分析力と思考力、データをもとに社会や組織の課題を解決していくための創造力や実践力、コミュニケーション力、協働力、データ活用にあたっての倫理観を備え、データサイエンスによる課題解決や課題探索により未来の社会づくりに貢献するデータサイエンス人材を育成することを教育目的とする。

初年度は、大学生としての基本的な学びの態度やアカデミックスキルなどを身に着ける科目である「成蹊基礎演習」や、様々な社会課題を題材として研究・発表・調査・プレゼンテーション等のスキルを養う「スタディスキルズ」などの初年次科目、幅広い教養を身に着けるための教養科目を開講した。また、「AI・データリテラシー」科目群には、データとその扱いに関する基礎的な考え方について、倫理的な課題を含めて学修する科目を開講した。専門科目では、「プログラミング基礎」「統計学」「データサイエンス概論」等、データサイエンスが必要とする数学や統計学、科学的方法の基礎を修得するための科目を開講。さらに、1年次から卒業まで連続して開講する専門演習科目「未来クリエイションプロジェクト」では、データサイエンスによる課題解決や課題探索に関する実践力を高める学びを展開する。このように、申請時の計画通り適切に科目を開講できている。

なお、各科目の開講にあたっては、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。あわせて、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年6月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年に日本高等教育評価機関の認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○大阪成蹊大学データサイエンス学部ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程

令和5年4月1日

制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学（以下「本学」という。）に置く大阪成蹊大学教授会規程（平成15年4月1日）第4条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学データサイエンス学部にて、本学の教学理念に沿った教育活動を向上させるファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という）の推進を図るため、ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会（以下、「委員会」という）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) FDを推進するための施策の検討と実施に関すること。
- (2) FDに係わる資料・情報の収集と学内広報に関すること。
- (3) FDに係わる調査・研究に関すること。
- (4) 授業評価に関すること。
- (5) 教育課程編成・実施の方針に関すること。
- (6) FDに係わる報告書等の作成に関すること。
- (7) 教育活動優秀教員の表彰に関すること。
- (8) FDに係わる職員の職能開発（スタッフ・ディベロップメント [SD] ）との連携に関すること。
- (9) FDに係わって学長から諮問があった事項に関すること。
- (10) その他FDに関すること。

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学科長
- (3) 学部長が推薦した者 若干名
- (4) 教務部長

2 前項第3号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員会には副委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

(任期)

第5条 第3条第3号の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項が定める委員以外の委員の任期は、当該役職もしくは委員の在任期間とする。

3 委員に欠員が生じたときは、これを補充する。ただし、その場合の任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

第6条 委員会は委員長が招集し、議事を進行する。

2 委員会は構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、委員長の決めるところによる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その任務を代行する。

(専門委員会)

第7条 委員会は、必要に応じ、専門委員会を置くことができる。

(委員以外の出席)

第8条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教務部において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関わる必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。